

渋滞解消に向けた取り組み事例

(総合福祉センター・総合防災公園付近のケース)

渋滞発生箇所のひとつである総合福祉センター付近においては、総合福祉センターに避難してくる車両が施設の駐車場に入りきれず、道路に滞留することが渋滞の一因となっていました。そのため、滞留している車両を総合防災公園に誘導することにより、渋滞解消に取り組んでいます。

なお、避難時には、サッカーコートを含む総合防災公園の緑地帯に駐車することが可能です。



- 避難する際の注意事項 -

能登半島地震の時は、土砂崩れが発生したり、道路の陥没や障害物によって道路の通行ができなくなったと報道されていたよね。



避難訓練などで行き慣れた避難先に向かう場合でも、スムーズに避難できない事態を想定しておく必要があります。安全な場所に住む親戚・知人宅や別地区の指定緊急避難場所など、複数の避難先や避難ルートを検討しておくことが大切です。



津波は地震に伴って発生するケースが多いから、地震により建物や道路が壊れて、自動車での移動が難しい場面も考えておく必要があるんだね。



車避難の場合は、渋滞も問題です。

令和7年のカムチャツカ半島付近の地震や青森県東方沖の地震、本年の三陸沖の地震により津波警報が発表された際は、市内複数箇所避難する車による渋滞が発生しました。交通量が多い通勤時間帯などは、特にスムーズに移動できないリスクを考慮する必要があります。

また、踏切の遮断や停電による信号機の不点灯などで、車両の通行に支障が生じる場合もあります。



4月20日に発生した三陸沖の地震では、市内でも踏切の遮断機が下りたままになって、避難の妨げになってしまったという話を聞いたよ。



踏切は列車の位置を検知して自動的に遮断機が下りるため、地震発生後に列車が停車した位置によっては遮断機が下りたままになります。全国どこの踏切でも発生する可能性があるため、注意しておく必要があります。

事前の備えが安全な避難の第一歩。あらかじめ、複数の避難先やルートを検討しておきましょう。



いざという時に、慌てずに避難するためにも、事前の備えが大切なんだね。私も、近所の安全な避難先をもう一度確認して、踏切などを通らずに避難できるルートも調べておこうかな。



考えよう！津波避難

津波からの避難は原則徒歩としているところですが、実態としては避難車両による渋滞が発生しており、浸水想定エリア内での渋滞は津波災害に巻き込まれる危険性が高いため、その解消が課題となっています。津波避難の原則や、避難時に注意すべきことを改めて確認しておきましょう。

図防災危機管理課 ☎ 52-2173

- 津波避難の原則 -

去年から今年にかけて、たびたび津波警報が発表されているね。津波から避難するときには守らないといけないことはあるの？



津波避難は、あくまで「徒歩避難」が原則です。津波到達までの時間が限られる中、交通が混乱することは、大きなリスクにつながります。久慈市では津波避難の考え方として、次の3点を示しています。



【津波避難の考え方】

- ①津波からの避難は原則「徒歩避難」
- ②避難行動要支援者は、個別避難計画に基づいて避難
- ③やむを得ず車避難を行う場合は、交通渋滞を防ぎ、いち早く浸水想定区域から離れられるよう、より遠く(大川目、侍浜方面など)の安全な場所を目指す

原則は、あくまで徒歩避難なんだね。ほかに、津波避難をする上で、気を付けるべきことはあるの？



人が多く集まる「指定避難所」への避難を意識しがちですが、津波避難は、まずは「命を守る選択」をとることが最も重要です。今いる場所から最も近い「避難目標地点」、海から離れ安全な場所にある高台や親戚・知人宅に向かうなど、まずは安全を確保することを心がけましょう。



- 指定避難所…災害の危険がなくなるまで、一定期間の滞在を想定した施設
- 指定緊急避難場所…災害から命を守るために一時的に避難する場所
- 避難目標地点…浸水想定エリアの外に設けられた、津波から避難の際の目標となる地点